

平成24年度

豊橋市行財政白書(概要版)

～とよはしの家計簿～



はじめに

行財政白書は、豊橋市の財政状況や行財政改革の取組みなどを、市民のみなさんにわかりやすく紹介するために、平成9年度から3年に一度発行しているもので、今回は第6刊となります。

この白書を通じて、豊橋市の財政状況や行財政改革の取組みについて、少しでも身近に感じていただくとともに、これからの行財政運営について、ご理解とご協力をいただければ幸いです。

目次

I 財政の仕組み

- 1. “財政”って何? 1
- 2. 市の財政をくわしく見てみよう 2
- 3. 市の財政を家計簿に置き換えてみると 3

II 豊橋市の財政状況

- 1. 市税は、どうなっているの? 4
- 2. 借金は、どれくらいあるの? 5
- 3. 貯金は、どれくらいあるの? 5
- 4. 財政の健康状態をチェックしてみよう 6

III 豊橋市の行財政改革

- 1. 行財政改革プランって何? 8
- 2. 行財政改革の歩み 8
- 3. プランの目的（多様な主体との協働・連携を通じた「豊橋の活力」の向上） 9
- 4. 主な数値目標 9

I 財政の仕組み

1. “財政”って何？

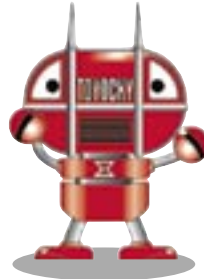
ねえ、トヨッキー、
そもそも“財政”って何なの？



うずらッキー



マーラ



トヨッキー

税金や使用料など市民のみなさんから集めたお金を、みなさんの生活に役立てるためにどのように使っていくかを考えることを“財政”と言うんだよ。

財政の仕組み

・市の収入(歳入)・

みなさんに
納めていただいた
税金

国・県からの
補助金

市債(借金)

その他
(施設使用料など)

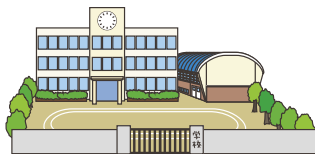
豊橋市

・市の支出(歳出)・

学校、道路、公園
などの整備



学校やごみ処理
施設など市の施設管理



子ども医療や
生活保護などの
社会保障



市民団体や民間
企業を支援する
ための補助金
など



わあ、いろんなところに
お金が使われているんだね。



私たちの身近なところに
たくさんのお金が使われているのね。

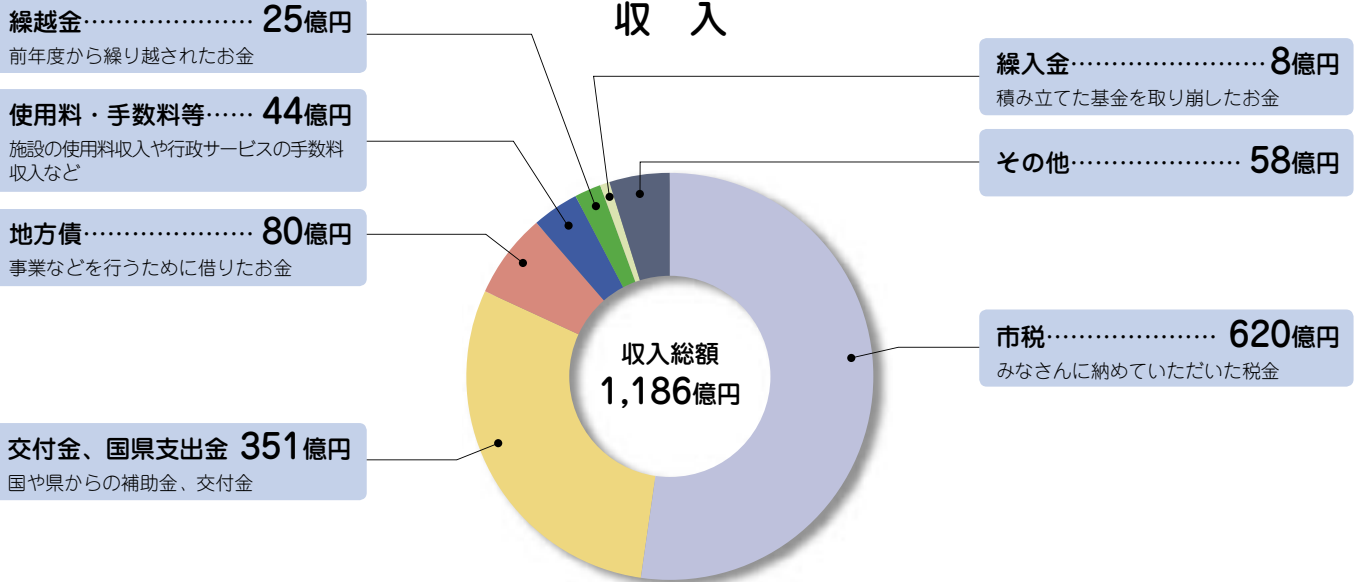
2. 市の財政をくわしく見てみよう



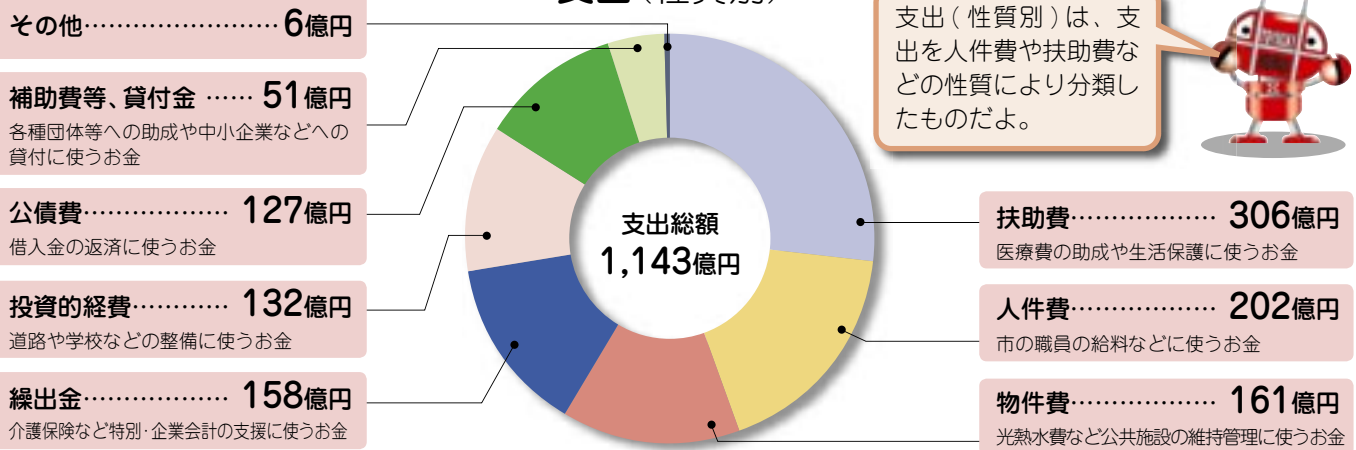
まずは、豊橋市の平成23年度一般会計の収入と支出をくわしく見てみよう。これは、23年度の豊橋市一般会計決算額だよ。

一般会計とは、学校・道路の整備や福祉、教育、ごみ処理など行政活動の一番基本的な会計です。

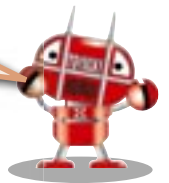
収入



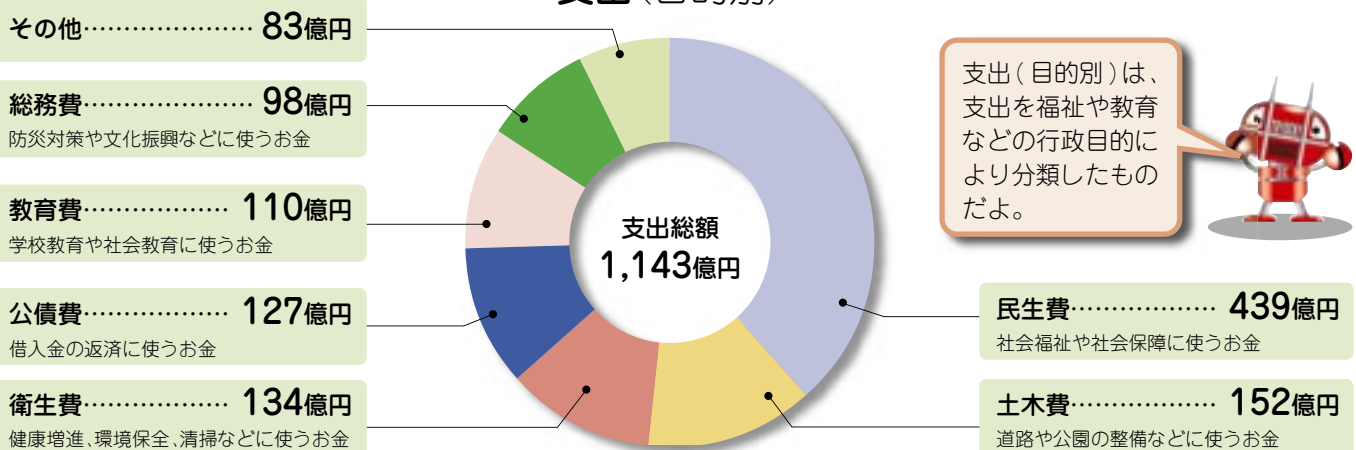
支出 (性質別)



支出 (性質別) は、支出を人件費や扶助費などの性質により分類したものだよ。



支出 (目的別)



支出 (目的別) は、支出を福祉や教育などの行政目的により分類したものだよ。



3. 市の財政を家計簿に置き換えてみると



ここでは、もっとわかりやすく身近なものとするために、平成23年度の一般会計の決算を年収500万円の家庭に置き換えてみたよ。

収入

給料	(市税)	261万円
パート収入	(使用料・手数料等)	42万円
親戚からの協力	(交付金、 国県支出金)	148万円
借金	(地方債)	34万円
定期預金の解約	(繰入金)	4万円
普通預金残高	(繰越金)	11万円

合計.....500万円

ローン残高 (地方債現在高) 454万円

支出

食費	(人件費)	85万円
光熱水費・日用品代	(物件費)	68万円
家族の医療費	(扶助費)	129万円
家族への小遣い	(補助費等、 貸付金)	23万円
こどもへの仕送り	(繰出金)	67万円
ローンの返済	(公債費)	53万円
家の増改築	(投資的経費)	57万円

合計.....482万円

普通預金残高 (収支差引) 18万円

定期預金残高 (基金現在高) 43万円



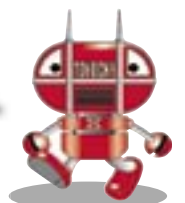
給料やパート収入だけじゃ、お金が足りないんだね。

家族の医療費にたくさんのお金がかかっているんだね。



そうなんだ。不景気で給料がなかなか上がらないのに、生活費(支出)は増える傾向にあるから、食費などをがんばって節約しているけど、親戚からの協力や借金が必要な状況なんだ。

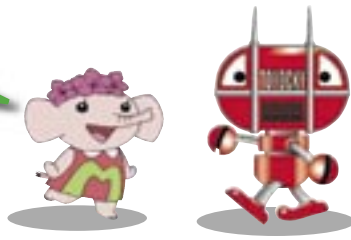
ここ数年、家族の医療費の割合が増え続けているんだ。これは節約するわけにはいかないから、家族への小遣いやこどもへの仕送りを見直すなど、家族全員で支えていくしかないんだ。



II 豊橋市の財政状況

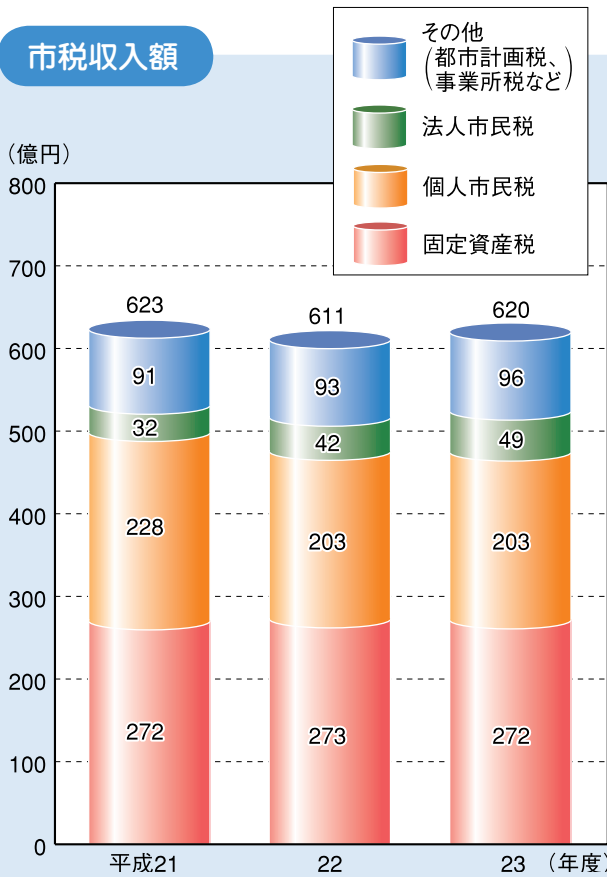
1. 市税は、どうなっているの？

市税は、どうなっているの？

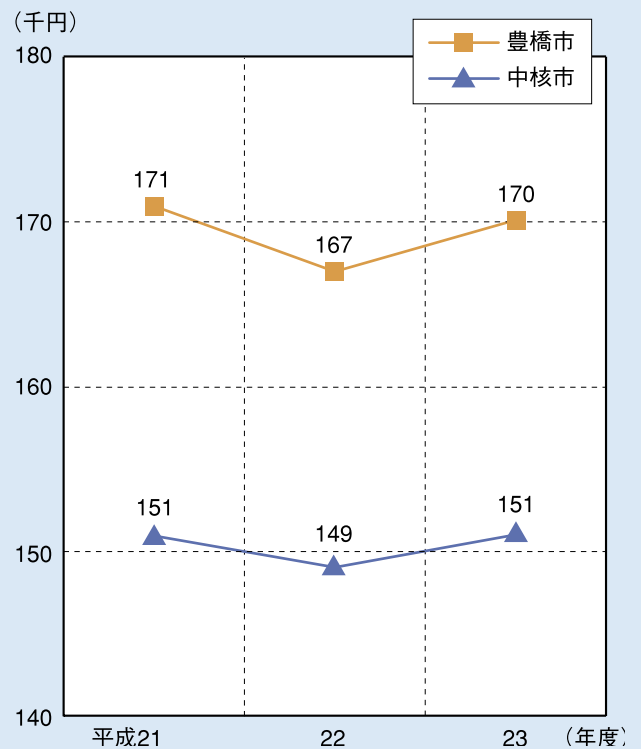


平成23年度の市税は620億円で、市民一人当たりになると17万円になるよ。税の種類では、土地・建物などにかかる固定資産税が市税全体の44%を占めているんだ。

市税収入額



市民一人当たり市税収入額



【中核市】

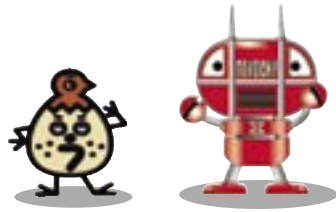
地域の中核となる都市で地方自治法上、人口30万人以上の要件を満たすことが必要です。本市は平成11年度に移行しました。23年度末時点では全国に41市あります。グラフの数値は中核市の平均値を示しています。

【普通会計】

地方公共団体ごとに異なっている一般会計、特別会計といった区分を統一的な基準で整理して比較できるようにした統計上の会計をいいます。次ページからの地方債などの数値については普通会計により算出してあります。

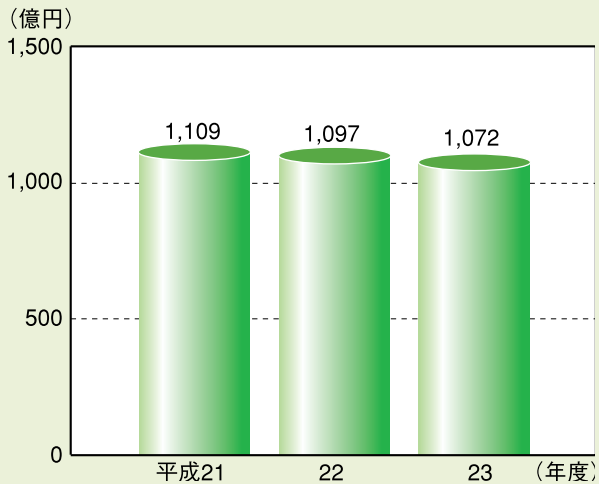
2. 借金は、どれくらいあるの？

借金は、どれくらいあるの？

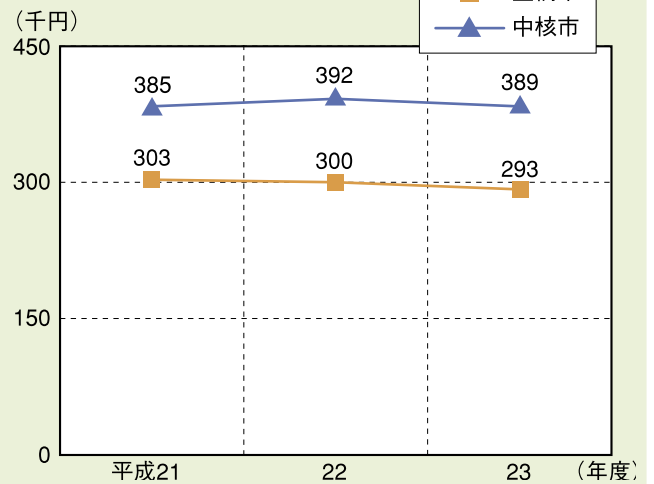


平成23年度末の借金（地方債現在高）は1,072億円で、これは、市税の約1.7年分、市民一人当たりになると29万3千円になるんだ。中核市と比べると少ない方なんだけど、今後も新たな借金をできるだけ少なく、計画的に借入れしていくよう心がけていくよ。

地方債現在高

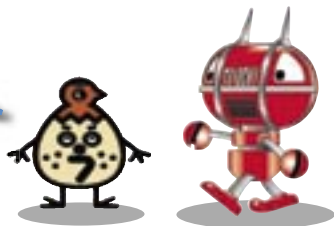


市民一人当たり地方債現在高



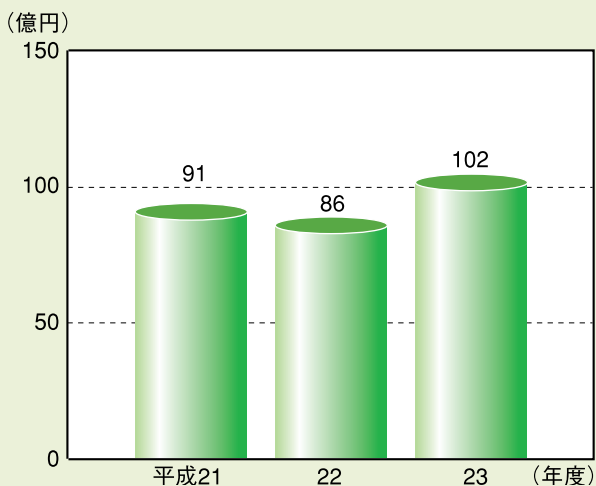
3. 貯金は、どれくらいあるの？

貯金は、どれくらいあるの？

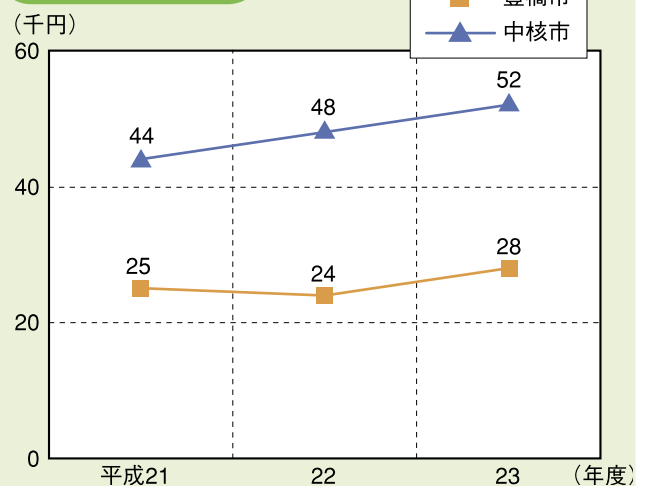


平成23年度末の貯金（基金現在高）は、102億円で、これは、市民一人当たりになると2万8千円になるよ。ここ数年は、不景気で積立てをするのが難しいんだ。中核市と比べると少ない方だけど、できるだけ借金を増やさずにバランスを考えて積立てをしていくよ。

基金現在高



市民一人当たり基金現在高



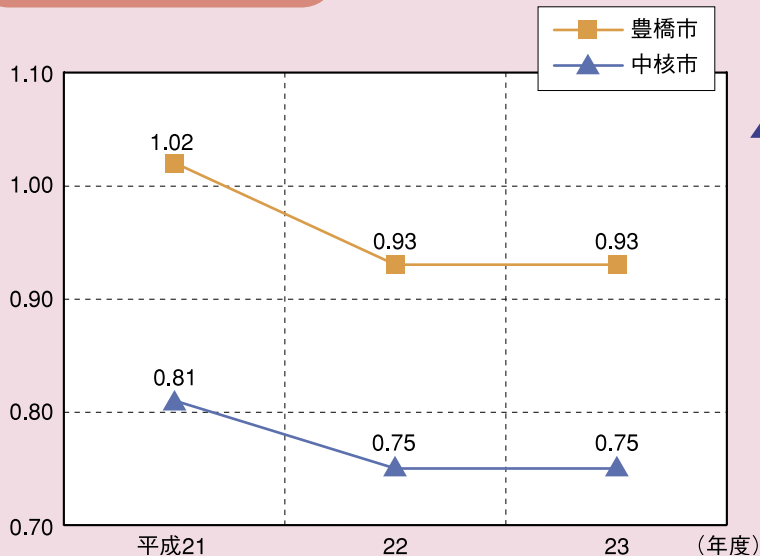
4. 財政の健康状態をチェックしてみよう

財政の健康状態は、
どうやってチェック
するの？



財政の健康状態を示す指標はいろいろある
んだけど、ここでは一般的に使われる財政
力指数と経常収支比率の2つの指標を使っ
て、中核市と比較してみるよ。

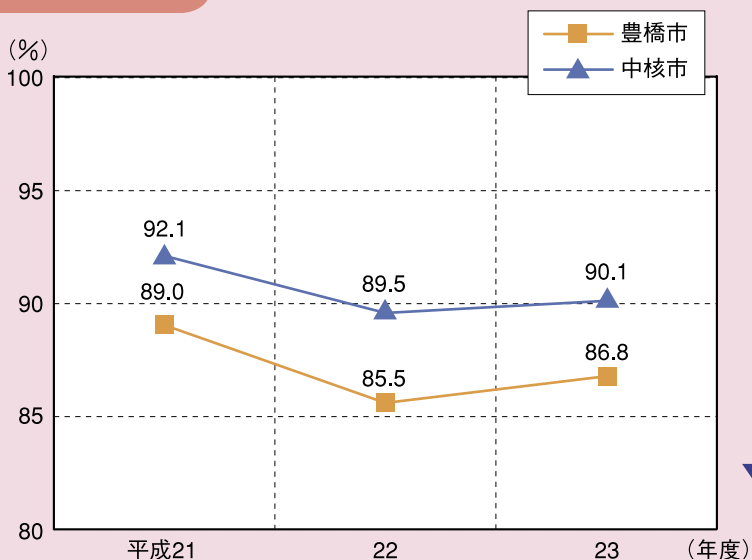
財政力指数（単年度）



財政力指数とは、地方
公共団体の財政に力がある
かどうかを表す指標です。
この数値が高いほど
自主財源（地方公共団
体が自ら調達できる財源）
の割合が高く、財政力が
強いことになります。

平成23年度は、中核
市41市中、高い方から5
番目となっています。

経常収支比率



経常収支比率とは、毎
年度経常的に必要となる
経費（借金の返済や人件
費など）を経常的な収入
（市税など）で割った比
率です。この比率が低い
ほど財政に余裕があるこ
とになります。

平成23年度は、中核
市41市中、低い方から8
番目となっています。



財政力指数も経常収支比率も中核市の中
で比べてみると、良好な財政状況に
なっているよ。

ほかに財政の健康状態を知るための指標はないの？



地方公共団体には、「健全化判断比率」・「資金不足比率」という財政の健康状態をチェックするための指標を公表することが義務付けられているんだ。

健全化判断比率

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	これを上回るとイエローカード 早期健全化基準	これを上回るとレッドカード 財政再生基準
実質赤字比率	— (5.76%)	— (6.60%)	— (5.86%)	11.25%	20.0%
連結実質赤字比率	— (19.40%)	— (20.87%)	— (22.95%)	16.25%	30.0%
実質公債費比率	8.9%	9.0%	8.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	88.0%	73.5%	57.1%	350.0%	

※「—」表示は、実質赤字額及び連結実質赤字額がないことを表しています。また（ ）に黒字比率を記載しています。

資金不足比率

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	これを上回るとイエローカード 経営健全化基準
水道事業会計	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし	20.0%
下水道事業会計				
病院事業会計				
総合動植物公園事業特別会計				
地域下水道事業特別会計				

すべて基準を下回っているけど、これからも行財政改革に取り組み、堅実な財政運営をしていくよ。行財政改革については、次のページで紹介するよ。



【実質赤字比率】

地方公共団体の一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示す指標です。

【連結実質赤字比率】

公営事業会計を含むすべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示す指標です。

【実質公債費比率】

借入金(地方債)の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標です。

【将来負担比率】

地方公共団体の一般会計等の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標です。

【早期健全化基準】

4つの指標のうち、1つでもこの基準以上となった地方公共団体は、「早期健全化団体」となり、財政健全化計画を策定して自主的に財政の健全化に取り組むこととなります。いわゆる「イエローカード」の状態です。

【財政再生基準】

将来負担比率を除く3つの指標のうち、1つでもこの基準以上となった地方公共団体は、「財政再生団体」となり、財政再生計画を策定して国の監督の下で財政再建に取り組むこととなります。いわゆる「レッドカード」の状態です。

【資金不足比率】

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示す指標です。

【経営健全化基準】

この基準以上となった地方公共団体は、「経営健全化団体」となり、経営健全化計画を策定して経営改善を目指すこととなります。いわゆる「イエローカード」の状態です。

Ⅲ 豊橋市の行財政改革

1.行財政改革プランって何？

どうして、行財政改革が必要なの？



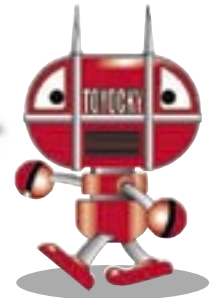
豊橋市は、これまでも行政サービスの向上と行財政運営の効率化に努めてきたんだ。でも、行政需要はますます多岐にわたり、市の財政負担も大きくなっているんだ。豊橋市ではこうした厳しい状況を乗り越えて、「第5次総合計画」によるまちづくりを着実に進めるために行財政改革に取り組む必要があるんだよ。



改革はどのように進めていくの？



今回、初めて部局ごとに具体的な行動計画を作成し、基本方針に沿ってそれぞれの分野で責任を持って取り組む事項を明確にしたよ。毎年、効果目標に対する達成度合いを市役所内部で評価するとともに、外部の専門的な視点からも評価・検証して、目標の達成を目指すんだよ。

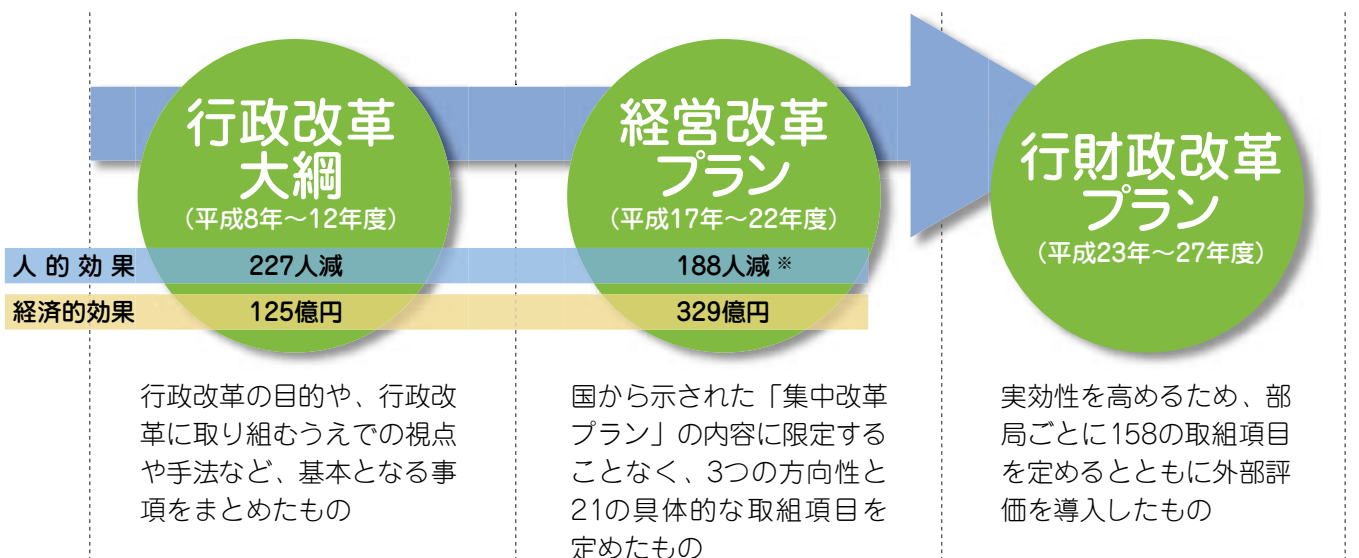


2.行財政改革の歩み

これまでの行財政改革はどんなものがあったの？



平成8年度から12年度までを計画期間とする「行政改革大綱」、17年度から22年度までを計画期間とする「経営改革プラン」を策定し、良質なサービスの提供と効率的・効果的な行財政運営の推進に取り組んできたんだよ。



※ 消防・医療部門（医療職）を除きます。

3. プランの目的 (多様な主体との協働・連携を通じた「豊橋の活力」の向上)

【3つの基本方針、17の重点推進項目、158の取組項目(部局別行動計画)】

基本方針	「自立と責任」の強化に向けた行政体制の整備	財政運営の自律性・健全性の確保
市民等の公益的な地域活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> 市民の自主的・自立的な活動の推進 地域団体等との協働事業の推進 地域資源の発掘と積極的なシティプロモーション活動の推進 など6項目	<ul style="list-style-type: none"> 職員の人材育成と給与等の適正化 政策推進を柱とした組織機構と定員管理の適正化 自治体間の広域連携事業の推進 など5項目	<ul style="list-style-type: none"> 市税の確実な収納と自主財源の確保 受益者負担の原則に立った使用料、手数料等の適正化 将来負担の適正化 など6項目
重点推進項目		
部局別行動計画 <ul style="list-style-type: none"> 文化市民部 <ul style="list-style-type: none"> 多文化共生事業の参加率向上 福祉部 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の生活サポーターの充実 健康部 <ul style="list-style-type: none"> 健康のまちづくり事業への参加校区拡大 環境部 <ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみの減量 産業部 <ul style="list-style-type: none"> 豊橋産農産物のブランド化促進 建設部 <ul style="list-style-type: none"> 家屋の耐震化の支援 都市計画部 <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス運行の支援 総合動植物公園部 <ul style="list-style-type: none"> 自然史博物館の案内ボランティアの育成 消防本部 <ul style="list-style-type: none"> 応急手当の指導員や普及員育成 教育部 <ul style="list-style-type: none"> 二川宿本陣資料館の地域との協働に向けた環境づくり はじめ70項目	<ul style="list-style-type: none"> 総務部 <ul style="list-style-type: none"> 職員の給与等の適正化と総人件費の抑制 職員数の適正管理と組織機構の見直し 監査機能など内部統制機能の強化 福祉部 <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険事業の広域化 健康部・消防本部・産業部 <ul style="list-style-type: none"> 東三河地域の医療、消防、産業振興など広域連携の推進 関係部局 <ul style="list-style-type: none"> 危機発生時の体制強化とマニュアル整備など はじめ25項目	<ul style="list-style-type: none"> 関係部局 <ul style="list-style-type: none"> 有料広告掲載、債権の管理など市税の確実な収納と自主財源の確保 使用料、手数料の見直し 事業や補助金・負担金の見直し 総務部 <ul style="list-style-type: none"> 公共施設全般の保全計画策定など将来負担の平準化 財務部 <ul style="list-style-type: none"> 市債残高の縮減や繰上償還(借換)の実施 市民病院・上下水道局 <ul style="list-style-type: none"> 病院事業や上下水道事業など地方公営企業の経営健全化など はじめ63項目

4. 主な数値目標

指標	基礎数値 (平成22年4月1日現在)	目標 (平成28年4月1日現在)
職員数 (普通会計部門等)	2,224人	2,014人 (210人(9.4%)減)

注：病院事業や上下水道事業を含めた全会計では139人の減員(4.0%減)となります。

指標	目標 (平成23～27年度の累積)
収入・支出の見直しによる経済的効果額	70億円

注：目標額は収入確保策や事業費・人件費の抑制による累積額です。



平成24年度 豊橋市行財政白書(概要版)

平成24年12月発行
編集・発行 豊橋市財務部財政課
〒440-8501 豊橋市今橋町1番地
電 話 (0532) 51-2117
F A X (0532) 55-6385
E - m a i l zaisei@city.toyohashi.lg.jp

豊橋市行財政白書は財政課ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/zaisei/>